

問1	主要な空港における旅客数の内訳を比較した際、東京国際空港（羽田空港）が「国内移動の拠点」として機能していることを示す具体的なデータの説明として、正しいものはどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 国際線が占める割合が年々減少しており、現在は国内線専用の空港として特化している。	2. 国際線の利用者数が成田国際空港を大きく上回り、旅客構成のほとんどを海外渡航者が占めている。	3. 旅客数全体を示す指標の中で、国内線の利用者が占める割合が国際線の利用者よりも数倍大きい。	4. 輸出入額の統計において、国内向けの貨物輸送量が国際貨物の輸送量を上回っている。
問2	横浜市、川崎市、さいたま市などは、東京都心部へ通勤・通学する人々が多く住む「ベッドタウン」としての性格を持っています。これらの都市の人口統計における一般的な傾向として、正しいものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 昼間人口よりも、そこに居住している夜間人口のほうが多い。	2. 夜間に都心部へ移動する人が多いため、夜間人口が極端に少なくなる。	3. 他地域からの通勤者が非常に多いため、昼間人口と夜間人口がほぼ一致する。	4. 昼間人口が夜間人口を大幅に上回り、昼夜間人口比率が200%を超える。
問3	ある地域の地形を分析するために、北に位置する高い山の山頂から、南に位置する標高の低い市街地までを直線で結び、その線上の標高の変化をグラフ化した断面図を作成しました。この断面図を作成する際に、地形図から直接読み取る必要がある情報として最も適切なものはどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 道路の舗装率	2. 市街地の人口密度	3. 河川の流域面積	4. 等高線が示す標高の値
問4	日本のユネスコ世界遺産（文化遺産）とその所在地の組み合わせとして、正しいものを選びなさい。（2020年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 姫路城 - 岡山県	2. 厳島神社 - 山口県	3. 富岡製糸場と絹産業遺産群 - 群馬県	4. 石見銀山遺跡とその文化的景観 - 鳥取県
問5	茨城県、岐阜県、静岡県、山梨県の4県について、土地の様子や産業を比較した統計資料があります。この資料において、茨城県の数値を示す特徴として正しいものはどれですか。（2019年 新潟県公立入試 類似）			
	1. 4県の中で山地面積が最も小さく、野菜の産出額が1,890億円と最も高い数値を示しており、製造品出荷額も11兆円を超える高い水準にある。	2. 4県の中で山地面積が最も大きく、農産物の産出額は全体的に低いが、中京工業地帯に近い地理的要因から製造品出荷額が最も高い。	3. 4県の中で製造品出荷額は15兆円を超え最大であるが、野菜よりも茶などの工芸作物の産出額に特色があり、山地面積は茨城県よりも広い。	4. 4県の中で果実の産出額が最も高く、山地面積が広いため傾斜地を利用した果樹園経営が盛んだが、製造品出荷額は4県の中で最も低い。
問6	関東地方の東京都のような巨大な消費地の周辺において、移動距離の短さを活かし、鮮度が重要となる野菜や鶏卵などを生産・出荷する農業の形態を何といいますか。（2026年 福島県公立入試 類似）			
	1. 施設園芸農業	2. 促成栽培	3. 抑制栽培	4. 近郊農業
問7	神奈川県の実業構造において、第三次産業の就業者割合が約75%と非常に高い水準にあり、かつ年間100万人を超える外国人観光客が訪れる背景にはどのような理由がありますか。その理由として適切な説明を選びなさい。（2018年 山形県公立入試 類似）			
	1. 県内のほぼ全域が大規模な農業振興地域に指定されており、外国人観光客を対象とした体験型農業が産業の主軸に成長したため。	2. 県庁所在地の横浜市などが国際的な港湾都市として発展し、歴史的な街並みや商業施設が充実しているため、サービス業や観光業が盛んになった。	3. 東京都内からの交通利便性が低いため、県内で独自の自給自足的な経済圏が形成され、それが珍しい景観として外国人に評価されたため。	4. 京浜工業地帯に位置するすべての工場が、近年になって観光施設や高層マンションへと転換され、製造業に従事する者がいなくなったため。
問8	1919年ごろの地形図において、現在の東京都渋谷区松濤付近は「鍋島農場」と呼ばれていました。当時のこの地点で主に見られた土地利用として、最も適切なものはどれですか。（2017年 佐賀県公立入試 類似）			
	1. 果樹園	2. 針葉樹林	3. 水田	4. 荒地
問9	埼玉県行田市の市街地には、かつての城下町としての構造と、近代以降に発展した地場産業の歴史が共存する景観が見られます。敵の侵入を遅らせる目的で道路をクランク状に曲げた「櫛形」と呼ばれる遺構や、明治時代以降に日本最大の産地として発展したある製品を保管するための蔵や鋸屋根の工場が今も残っています。この地域で発展した伝統的な産業として正しいものはどれですか。（2026年 東京都公立入試 類似）			
	1. 織物産業	2. 陶磁器製造業	3. 足袋製造業	4. 醤油醸造業
問10	群馬県におけるキャベツの出荷量は、3月は約80tであるのに対し、8月には1万tを超えて激増するという統計があります。また、群馬県の栽培地点は、千葉県などの平地の地点と比較して8月の気温が低く保たれているという特徴があります。このような標高の高い地域で行われる農業について説明したものと、最も適切なものはどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）			
	1. 夏でも冷涼な気候を利用して、平地での生産が難しい時期に野菜を栽培・出荷する高冷地農業。	2. 化学肥料や農薬を抑え、消費者の健康や環境に配慮して農作物を育てる有機農業。	3. 冬の温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで成長を早めて出荷時期をずらす促成栽培。	4. 大消費地に近い立地を活かして、生産コストを抑えながら鮮度の高い野菜を届ける近郊農業。
問11	2015年の野菜産出額の統計において、1位の北海道に続き、2位に茨城県、3位に千葉県、7位に埼玉県、9位に栃木県と、関東地方の各県が上位に多くランクインしています。このように、大都市の周辺で行われ、消費地に近い利点を生かした農業を何といいますか。（2017年 鳥取県公立入試 類似）			
	1. 近郊農業	2. 高冷地農業	3. 促成栽培	4. 施設園芸農業
問12	明治政府が輸出を拡大するために1872年に設立した官営模範工場であり、現在は世界文化遺産に登録されている富岡製糸場が所在する、関東地方北西部の内陸に位置する県はどこですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）			
	1. 三重県	2. 群馬県	3. 福岡県	4. 長崎県